

ありーて

わたしの未来はわたしが創る

2014.3
13号

特集 だれもがいきいきと暮らせる地域社会をみんなで作ろう！……p2

■イクジイを楽しむ ……………p6

■高岡市の取り組み～DV対策～ ……………p6

■セピア色の写真から／澤田 はついさん ……………p7

■センター活動登録団体紹介 ほか ……………p8



「ありーて」は
自分の力で問題を解決していく
イギリスの童話
「アリーテ姫の冒険」の
主人公の名前です。



少子高齢化の急速な進展により、

労働力人口の減少や、地域活動の担い手不足が見込まれるなか、家庭・職場・地域などの様々な分野で、男女が共に参画することが、社会全体や地域の活性化にとって重要となっています。特に、女性が社会や地域活動に参画し、その能力を十分に発揮する機会を確保することは、労働力供給の量的拡大に加えて、多様な価値観や発想が生まれ、持続的に新たな価値を創造することが期待されます。

しかし、私たちの生活の中で、「男性は仕事、女性は家庭」という意識がまだまだ残っていることに気づくことがあります。このような意識をなくすことで、男女が性別に関わらず、一人ひとりの個性と能力を發揮し、お互いを尊重し認め合う、男女平等・共同参画社会の実現が可能となります。

今年度、地域での男女平等・共同参画をテーマに開催した「男女平等EXPO高岡2013」から、様々な現状や課題などが見えてきました。それらを踏まえ、地域の事例を見ながら、誰もがいきいきと暮らせる社会について考えていきます。

これからどうする？

わたしたちの

男女平等・共同参画

「男女平等EXPO高岡2013」
参加者の声

様々な人が参画するダイバーシティを進めることで社会や地域に活気が出る。



あらゆる政策決定過程で、女性の意見を反映してほしい。

女性の参画比率を高めるには、女性自身も会長や役員などを引き受ける自覚が必要だ。

男女がお互いに良いところを認めあい、助け合っていくように、弱い立場の人を助けていく社会になれば良い。



キーワードは参画



いろいろな手段で、女性の参画を進める雰囲気をつくるぞう。



枠組みを作るだけでなく、「みんなでする」という意識が必要だ。



トップに女性が就くことが、男女平等ではない。男女がお互いをしっかり認めていくことが大切よ。

地域の防災力を高めるために、防災分野における女性の参画をすすめることが大事よ。



三三情報

◆世界ジェンダー格差指数

世界経済フォーラムが、各国の男女間の格差を数値化しランク付けしたもので、経済・教育・政治・保健の各分野のデータから算出します。日本は136か国中105位で、特に、政治・経済の分野で遅れを取っています。この大きな原因は、政治分野における女性の割合や、女性管理職の割合が低いなど、女性の社会進出が進んでいないことが挙げられます。

世界ジェンダー格差指数 (2013年)

順位	国名
1	アイスランド
2	フィンランド
3	ノルウェー
4	スウェーデン
5	フィリピン
6	アイルランド
7	ニュージーランド
105	日本

※1 男女平等EXPO高岡

市民、事業者と行政が、市の男女平等・共同参画に対する姿勢を市内外に発信し、実現に向けての気運を一層高めていくことを目的に、男女平等推進センターネットワーク会議委員が中心となる実行委員会が毎年10月下旬に、ウイング・ウイング高岡で開催しています。

※2 ダイバーシティ

多様化を意味します。グローバル化に対応するため、企業や社会は、そこに所属する個人の違いを尊重し、性別・年齢・国籍などの多様化に富むことが求められています。ダイバーシティの推進は、企業や社会に多面的な効果をもたらします。

◆地域活動に参画する

地域の活動では、男女がともに参画し、地域の問題点を把握し、生活体験等を活かしながら、その解決方策等をみんなで考え、実施していくことが大切です。しかし、男女の固定的な役割分担意識が強く残っていることから、自治会等の地域活動では、男性が中心となって地域の運営方針等を決めている傾向があります。また、女性は、家事や育児に追われ、地域活動に参画したくてもできないとの意識調査の結果もあります。

東日本大震災などを通して、自然災害に対応するためには、普段から男女共同参画による地域活動組織をつくっておくことが重要であることが明らかになりました。地域活動への女性の積極的な参画を促すには、自治会長等の役員に女性を登用することが効果があるとされています。物事を決める場に男女がともに参画することが求められます。

自治会長に占める女性割合 (2012年)

順位	都道府県名	女性比率(%)
1	大阪府	11.4
2	高知県	10.7
3	東京都	10.5
4	沖縄県	9.6
4	香川県	9.6
42	富山県	1.4
	全国平均	4.4

内閣府男女共同参画局「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」(平成24年度)

インタビュー

地域の人々との交流が大切



太田校下波谷地区
前自治会長
(平成23年4月〜25年3月)
桶本 一栄さん
かづえ

波谷自治会
世帯数56世帯からなり、3班に分かれている。

◆きっかけ

自治会長は3班で順番に2年ずつ交代で選ばれます。

私の班は、どの家も様々な理由で、自治会長を引き受けることが難しく、私が受けることになりました。

夫は転勤族で、以前も8年ほどここに住んでいたのですが、昔とは皆さんの生活環境なども変わっており、全部の家の名前と場所を覚えることも不安でした。そんな私の背中を押してくれたのは、今も単身赴任中の夫でした。「30年間も留守にしている、皆さんにお世

高岡市の単位
自治会長のうち
女性は

5名

614名中

(平成25年4月1日現在)



話になっている。少しでも協力することが大切だ。」と言ってくれました。

◆自治会長としてのスタート

初めての会合には、女性自治会長がどのようにして進めていくのかと、多くの方が出席されました。初めは皆さん静観しておられたのですが、私が困っているのが分かってくると、「こうしたらいいよ。」と教えてくださるようになりました。皆さんが参加し、どんどん協力してくれるようになりました。

◆取り組み

自治会長になって取り組んだことの一つに、環境整備があります。太田は観光地ですが、海水浴場に出る道路のガードレールが錆びてボロボロになっているのが気になりました。市の担当課に連絡して、再度交渉の結果、三年で替えてもらうことができました。また、近くの橋の下の側溝には自分達だけではどうしようもないほど泥が詰まっていたのですが、市の担当課と協議して、綺麗にしてもらいました。今は自分達で掃除し、綺麗にしています。

その他に、市などで話を聞いたり、調べたりして、災害時に備えて防災物置を設置したり、みんな

で集合場所まで歩いてみたりなどしました。

『自分で足を運ぶ』、『自分なりに調べる』、『分からないことは聞く』、『率先してやる』ことを心がけ、言うだけでは駄目で、動くことが大切だと感じました。ただ、草むしりにしても何にしても、「皆でやらないと駄目だよ。」と言ってくれる人がいて、皆さんが関わってくれるようになりました。男性も女性も、年配の方も若い方も皆で関わるのが地域社会の活性化や、安全で安心な地域づくりにつながるのではないのでしょうか。また、災害時にも自然に活動することができると思っています。

編集員×七

自治会の役員組織には女性が少ないと感じます。女性にも3〜4割ほど入ってもらって、女性の意見も取り入れていくことが大切だと思います。自治会組織のなかに女性を3割入れなさいという規約でもあれば女性も参加しやすいかもしれません。



◆リーダーになってみる

女性は、子育ての中で地域に関わる機会が多くあります。例えば、PTAや児童クラブ活動など、活動に参加することで、地域の子どもと触れ合い、地域のことを知ることが出来ます。しかし、そこから一歩踏み出し、PTA会長や児童クラブ会長として活動に関わる女性は、まだまだ少ないのが現状です。これは、会長という職は忙しい、大変というイメージがあるためだと考えられます。

子どもや高齢者をめぐる課題の多い地域では、女性が参画し、生活者の視点で、リーダーシップを発揮していくことが大切です。そのためには、リーダーの負担を軽減するために、役割分担やリーダー経験者が補佐するなど、みんなで協力することが重要です。男女がともに参画することで、より住みよい地域になるのではないのでしょうか。

都道府県別PTA会長(小・中学校)に占める女性の割合(2007~2008年)

順位	都道府県名	女性比率(%)
1	東京都	46.7
2	神奈川県	32.8
3	奈良県	28.4
4	埼玉県	25.7
5	京都府	20.4
46	富山県	2.1

内閣府「平成20年版男女共同参画白書」
日本PTA全国協議会調べ

インタビュー

皆が得意分野を活かして



下関校下
児童クラブ協議会
会長
宮袋 紀子さん
みやがら のりこ

下関校下児童クラブ協議会
対象は下関校下に住んでいる幼児から中学生の子どもまで、指導者を含めると950名ほどで活動している。

◆きっかけ

新役員を決める際、誰が会長をするかということは、皆さんそれぞれの事情もあり、なかなか決まりませんでした。何度も話し合いの場が持たれ、そんな状態が続くのが嫌だったこと、そして、私は人前に出て話すことが苦ではなかったこと、また、今までは男性が代々会長を務められ、女性が会長をすることに抵抗はありましたが、生まれ育った地元へ少しでも恩返しができればと思い、会長を引き受けることにしました。

高岡市の校下児童クラブの会長のうち女性には

2名 / **25名中**
(平成25年度)

◆地域とのつながりを大切に

児童クラブでは、親子で楽しめる魅力ある事業をおこなっています。

例えば、親子ふれあい事業では、親子で地引き網を体験し、大漁なべをいただきました。網を引いたり、漁師さんが手早く魚をさばき、大漁なべを作ってくださいるのを間近で見ることができたことは、子どもたちにとっても良い体験となりました。



また、社会福祉協議会との共同事業では、三世交代交流会「そば打ち体験」をおこない、祖父母・父母・孫の三世代が地域のそば打ち名人にそば打ちを教えていただき、自



分産で打ったゆでたてのそばをおいしくいただきました。

子ども達には、普段なかなか体験できないことを地域の皆さんのご協力をいただきながら、一緒に体験する機会を多く作ってあげたいと考えています。今後も、『親子のつながり』、『地域とのつながり』を深めていけたらと思っています。

◆チームとして

一つの事業を行うとき、準備から開催まで、しなければならぬことは多くあります。役員それぞれが自分のできること、得意なことを活かし、お互いがお互いを信頼して、一つのチームとして、進めています。そのおかげで、子どもの学年を超えた父母の友達の間も広がりました。

会長となったことをせっかくだいだいたチャンスだと考え、子ども達の笑顔のために貢献することができたらいいなと思っています。

編集員メモ

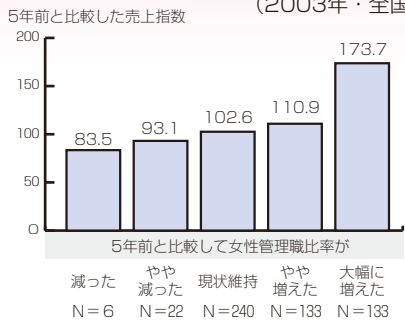
女性は子育てのなかで地域に関わる機会が多いのですが、宮袋さんは自分のできること、得意なことを活かしながら、上手に子ども達や地域との絆を深めておられると感じました。



◆女性の力が企業を変える

少子高齢化が急速に進展し、労働人口の減少が見込まれる中、企業においても女性の活躍への期待が大きくなっています。企業が女性のキャリアを活かせる環境を整えることで、女性が積極的に働き、自分の力を発揮し、充実を感じながら仕事をすることができるようになります。また、女性の登用を進めることで、女性社員の責任感、チャレンジ意欲の向上や、女性の視点による新たなサービスの創出、顧客ニーズに的確に対応した顧客満足度の上昇につながります。さらには、女性の活躍が男性社員への刺激になり、職場に活気があふれるなど、様々なメリットが生まれます。そして、女性社員が活躍している企業は経営業績が伸び、経済活動が活性化する効果を生み出します。

5年前と比較した女性登用と企業売上の関係 (2003年・全国)



資料 (財)21世紀職業財団「企業の女性活用と経営業績との関係に関する調査(2004年)」
注 5年前を100とした場合の現在の売上高

インタビュー

女性の視点を活かした職場づくり



株式会社
ヒラキストア
代表取締役社長
開 貞二さん
ひらき まさひろ

株式会社ヒラキストア
食品スーパーマーケット。昭和35年創業。従業員数/123名。(うち女性93名)

◆企業紹介

健康づくり・人づくり・絆づくりを社是とし、『全社員の心が通じ合い、いきいきと働けて本当の喜びが実感できる会社になりたい。』お客様の信頼を得て地域に欠かせないお店となり、地域社会にご奉仕したい。』という願いで、日々奮闘しています。

◆女性従業員の育成・活躍

買い物に来て頂ける主力層はなんとこちらも女性です。

数年前、「女性従業員は、仕事を終えると、買い物をする立場でもあり、お客様の気持ちに一番近い。女性従業員の意見を反映することで、お客様のお役に立てる売場づくりができる」と考え、女性従業員の協力のもと、「きらりプロジェクト」を立ち上げました。これは、女性従業員にお客様目線で自由に

意見を言ってもらい、問題を解決したり企画を考えたりする活動です。「あいさつ運動」や「鮮度パトロール」など、自分達ならこんなことが心地良い」という目線で、改善に取り組みました。その結果、お客様と提供する側に共感が生まれ、成果が出たことで、女性従業員が自信をもち、アイデアが生まれ、新しい改善活動につながりました。

また、お客様のニーズ(需要)を探るだけではなく、ウォンツ(欲求)を満たすべく、提案型の店づくりをするため、女性の視点を大切にしています。

例えば、食品の販売でも、男性は「価格重視」に偏りがちですが、女性目線だと「家族に美味しいものを食べさせてあげたい」「バランスのいい食事をしてもらいたい。」と様々な価値観が見えてきます。また、ポップの表現でも、産地や味・話題性・安心・安全といった「コト」の見える化・色合い・言葉づかい・絵をつけるなど、気配りや気遣いにより、新たな価値の創造や、お客様の共感・感動につながります。販売も相手の立場にたった、「感性・感動」がキーワードになります。そのためにも、

女性の視点が大切だと感じます。

男女を問わず、力のある方には積極的に管理職への挑戦をお願いしています。特に女性の優れた「感性・感覚」の分野の力が十分に発揮される環境をつくり、女性のキャリアアップをどんどん行うべきだと思っています。

編集員×E

女性だからこれができない、ではなく、女性だからこれができる、ということを活かしていくことが大切だと感じました。



男女平等・共同参画を進めるには、女性は会長などの役職を頼まれたら、まず引き受けてみましょう。そして、周囲の協力を得て、皆を巻き込んでみましょう。また、男性は家事・育児等の家庭生活に積極的に関わり、女性が安心して仕事や地域活動に参加できる環境を整えましょう。男性にとっても日々の生活が充実し、豊かな暮らしが実現します。男女平等・共同参画社会を実現することで、誰もがいきいきと暮らせる社会につながります。

インタビュー イクジイを楽しむ



しんぼ よしのり
新保 喜弘さん

※イクジイとは、両親をサポートするために、子育てに積極的に関わる祖父のこと。

高岡市内で、妻・息子夫婦・孫と暮らす。孫が生まれたのを機に会社を退職し、共働きの息子夫婦をサポートするために子育てに積極的に関わる。

登下校に合わせて

朝、孫が登校する時間に合わせて、犬の散歩をし、孫を見送っています。近所のお子さんにも、「〇〇ちゃんのおじいちゃんだ！」と声をかけてもらうことも多いです。また、下校時にも近くの公園まで様子を見に行つて、一緒に帰ってきたりしています。

宿題をみる

孫は、学校から帰ると、宿題をするのですが、宿題を終えると、「おじいちゃん、見て。」と言つので、目を通し、例えば漢字が間違っていたら、「こんな漢字、見たことないな。」と言つようにしています。「間違っている。」と言つと強くあたるので、「おかしいな。」と言つた方で、話をしています。学校で直してもらつてもいいと思いますが、その場で教えてあげたほうが、身につくのかなと思つています。

帰宅時間の決まり

宿題の後は、孫は友達と遊ぶこともあるのですが、友達が家に遊びに来る時も、孫が友達の家に遊びに行く時も、帰宅時間は夕方5時を目途に決めていきます。初めからそうしていたことで、今では自分達で5時だから帰ろうと自主的にやってくれています。息子夫婦が仕事で帰りが遅くなる時には、孫と一緒に夕食を食べたり、風呂に入ったり、習い事の送迎もします。

イクジイのきっかけ

母親が職場復帰した頃、一日を孫と過ごす妻の様子が疲れていると感じました。結構しんどいな…と思ひ、二年ほど延長して勤めていた会社を辞めました。私も一緒にいたほうが、妻の気も紛れるだろうと思ひました。イクジイということ意識しているわけではなく、息子夫婦

自分の子育て

サラリーマンをしていたので、息子と顔を合わせる時間は、ほとんどなかったですね。常識はずれのことをしない限りはあまり怒ったこともありませんが、いけない事をした時だけは、本気で怒りました。でも、それは今、孫に対しても同じです。

孫と同じ目線で

一緒に過ごす時間は、なるべく上から目線ではなく、孫の立ち位置でみてあげるようにしています。同じ目線で褒めたり、怒ったり、なだめたりしています。そうすると、孫も素直に接してくれます。一緒にいる時はその時その時で精一杯ですが、一日が終わると、今日も楽しい時間を過ごせたなと思つています。

妻から一言

私達は、何か特別なことをしているわけではなく、孫が「ただいま。」と帰つて来た時に「おかえり。」と言える環境をつくっているだけです。ただ、夫が孫の誕生を機に退職してくれたので、こんなふうにできるのだと感謝しています。

みなさんは、お孫さんとの時間をどのように過ごしていますか？

市ではDV対策基本計画(計画期間：平成24年度～28年度)を策定し、暴力を許さない社会を目指して取り組んでいます。

高岡市の取り組み

～ DV対策 ～

■DV(ドメスティック・バイオレンス)とは…

配偶者や恋人など親密な関係にある人からの「暴力」をいいます。DVの本質は、相手を支配するための手段として暴力を使うことです。DVには、身体的暴力、精神的暴力、経済的暴力、性的暴力があります。

予防啓発

- 講座の実施や、パンフレット、情報誌等による啓発活動により、暴力の防止や暴力を許さない意識づくりに取り組んでいます。
- 中学生を対象としたDV予防啓発プログラムを策定し、出前講座を実施します。また、市内の全高校1年生に、DV予防啓発のためのリーフレットを配付しています。

相談事業

- 男女平等推進センター相談室(配偶者暴力相談支援センター)では、専任の相談員がDVや、生き方、夫婦の問題など、さまざまな相談を電話や面談(事前予約が必要)で受けています。
- 相談時間【※日曜日・毎月第4月曜日は休みです】
9:30～16:30(月～水・金・土曜日)、14:00～20:00(木曜日)
- 専用ダイヤル：0766-20-1811
- 場所：高岡市末広町1-7 ウイング・ウイング高岡6階

セピア色の 写真から

「近代女性俳人の先駆者

〜明治俳壇を駆け抜けて〜」

澤田 はつ い さん

(一八九〇〜一九八二年)



澤田はついで(俳号、はぎ女は、明治二十三年(一八九〇)、西砺波郡西五位村三日市(現・高岡市福岡町)に生まれた。子どもの頃から読書や歌かるた遊びが好きで、将来の結婚相手は「歌を作る人」を夢見ていた。明治三十九年(一九〇六)、数え年十七歳の時、高岡市和田の銀行員澤田彌太郎のもとに嫁いだ。和田周辺は、「俳句村」と呼ばれ、俳句づくりが盛んにおこなわれており、県内初の日本派俳句会「越友会」(※1)が立ち上げられた地であった。彌太郎(俳号、岳楼)は、若い頃から与謝野鉄幹・晶子から指導を受けた歌人であり、俳人でもあった。岳楼との出会いによって、はぎ女の詩心は育まれ、俳句の才能が開花した。

はぎ女は結婚一年後から、秀でた俳句の数々を国民新聞や雑誌『ホトトギス』に発表するようになった。

「吾夫を外へはやらじ月こよひ」

「此君の妻で嬉しや桃の花」

「そなさんと知つての雪の礫かな」

前二句のように、はぎ女はのびのびと

思いのままに夫へのひたむきな愛情を歌ったが、当時このように素直に情感を表現する俳人は稀であった。

三句目は、中央俳壇選者の松根東洋城(※2)や後年には小説家吉屋信子らの激賞を受けた、はぎ女の代表作である。はぎ女は、正岡子規や高浜虚子、河東碧梧桐、内藤鳴雪に次ぐ作句数、六百余りの佳句を残している。俳句人口における女性の比率が極端に少なかった当時、全国の俳壇で男性に伍してその才能を高く評価され、近代女性俳人の草分けであった。しかし、はぎ女は五年で俳壇から姿を消した。それはなぜか。

はぎ女は銀行員の妻として、日中は休暇なく子育てをしながら作句に努めていた。夫や姑は理解を示していたが、家事や子育てと作句を両立することの難しさについて、師と仰いでいた松根東洋城に相談をしている。

当時は極端な封建思想の中で、あらゆる分野で男性が優先され、女性は家庭で夫を助け、家事と子育てに励むことが当

然のように考えられていた。はぎ女が華やかな中央俳壇で活躍しだすと、妬みを抱いた人たちが地方の俳人たちから次第に白い目で見られるようになった。当時のことをはぎ女自身は、次のように述べている。

「私の名が俳壇に出始めて来ると、明らかに動揺の色が見え出しました。そして近所の方々からへんな眼で見られるような気が始まりました。或る日、主人と姑に呼ばれて俳句をやめてくれないかと言われましたので、あれ程好きであった俳句をぷつり止めました。」「はぎ女訪問記」

こうしてはぎ女は、その才能を認められながら数年間続けてきた俳句づくりを断念した。当時の俳壇における男性上位の風習や女性に対する差別観に、後ろ髪をひかれるような思いで俳壇を去った。

「行春や草家で売れし鯛一匹」

はぎ女が最後に投句したうちの一句である。「私が俳句を止めることで、澤田家に幸せがやって来るに違いない。これを願ひ、鯛一匹買って来た。これからの私の新しい前途の祝福も兼ねて食膳を飾ろう」という句意である。これを最後に以後、子どもたちにさえ自分が俳人であったことを話すことはなかった。俳人としてではなく、嫁、母として、明治の「良妻賢母」として生きる道を選んだのである。

はぎ女架空説

はぎ女が俳壇から去った後、大正八年、「はぎ女は実在せず、夫岳楼の代作であった」という「はぎ女架空説」が発表された。はぎ女は俳壇から抹殺されてしまったのである。この架空説に対し、はぎ女の実在を強く主張していた俳人池上不二子(※3)が『はぎ女訪問記』を発表した。はぎ女は自身の架空説について、後年次のように語っている。

「私は俳句界のことはまるで知らず、いつの間にか人々が力を合わせて、私を烏有作家(実在しない作家)に仕立てて下さいました。知らない内に国籍を抜かれたようなものです。自分で、自分を証明する事の如何に難事業であるかを私は今更の様に身を以って味わいました。」

今から百年以上も前の封建色が強い地方において、中央俳壇で男性と肩を並べる才能あふれる女性が「俳人はぎ女」としてではなく、「家」を第一に妻として母として生きる選択をした生涯であった。

【注 釈】

※1 越友会 高岡市和田の西光寺住職である寺野守水老、筏井竹の門、山口花笠らによって結成された。日本派俳句会としては富山県内初。はぎ女の夫も岳楼の名で参加。

※2 松根東洋城(まつねとうようじょう)俳人。国民俳壇選者を高浜虚子から受け継いだ。大正四年「楠法主宰」創刊。

※3 池上不二子(いけがみふじこ)はぎ女架空説の究明に立った俳人。「はぎ女句集」を編集。

【参考文献】

「俳人はぎ女」(福田俳句同好会編)



高岡くらしの会

次世代へ
持続可能な環境を

川上代表：複雑化した現代社会には、生活していくうえで、多くの選択肢があります。大切なのは、その中のどれを選ぶかという「確かな目」をもつことです。どんなに強い思いや技術があっても方向性を間違えば、何にもなりません。高岡くらしの会は、暮らしに関わるあらゆることに関心を持ち、考え、実行していくことを目指しています。

編集員：どのような活動をしておられるのですか？

川上代表：今年度は、環境に関する活動をしており、9月には男女平等推進センターに登録する団体のネットワーク(Eネット)主催の「Eフェスタ」で、原発事故の恐ろしさや、福島の実状について話を聞き、自分たちができることを考えるワークショップを開催しました。5人の子どもを持つ講師の佐々木るりさんは、地震の揺れの恐怖や、原発事故の影響から逃れるために県外に避難した経験を振り返

り、「日常が簡単になくなってしまった」と話されました。

編集員：私もワークショップに参加させていただいたのですが、現在も福島の子もたちを被ばくの影響から守るために、さまざまなことに取り組んでおられる佐々木さんの「家族と一緒に普通の生活をしたいだけ」「福島で起きたことをずっと忘れないで」という言葉からは、言葉では言い表わすことのできない母の迷いや苦しみが感じられました。私たちは、福島で起きたことを決して忘れることなく、一人ひとりができることを考え、実行していくことが大切ですね。



とやまcocolo会

Smile! 活動

五十田代表：2010年度から富山県との協働事業により、自殺対策の人材養成講座として、「こころのサポーター養成講座」、「ピア・カウンセラー養成講座」を開講しています。自分自身を見つめる講座からスタートし、自分の経験をいかして、生きづらさを抱えている人などの話を聴いてあげたい、みんなが楽しく生きていけるようにしていきたいとの思いがあります。また、高岡市と協働で、里山とココロの育成事業を行っています。これは、人と自然が調和していた里山で、人と自然との関係を見つめ直すことを狙いとしています。里山を通して、環境を学んだり、様々な体験を通して、一人ひとりの自立性を高め、人と交流することによって、何か気づきが生まれればい

いなと思っています。とやまcocolo会は、みんながきらきらできる場を目指しています。

編集員：私達一人ひとりが、悩みを抱える人の心に寄り添い、支え合う社会をつくっていく心がけていきたいですね。



あなたのグループもセンターに登録しませんか？

登録されると、センターをグループ・団体の拠点として活用できます（交流スペース、活動用ロッカーの無料利用等）。センターのホームページで、上記以外の登録団体・グループも紹介しています。

高岡市男女平等推進プラン情報誌「ありて」は男女平等・共同参画の推進を目的に、公募による市民編集員が企画・編集しています。

編・集・後・記

◆男女平等・共同参画って何？と思いながら、ありて編集員を引き受け、あっという間の2年間でした。市民・企業・行政等が共に「支えあう」という取組みをしている事に感動させられました。また、世代の異なる3人の編集員の意見交換は、とても楽しいものでした。2年間ありがとうございました。（金森 美世）

◆高岡市が男女平等・共同参画都市宣言をした頃、強く共感し、自らの体験談を寄稿しましたが、その意識は長く休眠状態でした。しかし編集会議を通して無意識のうちに、食生活改善活動など男女共同参画に携わっている自分に気づきました。また「男(女)のくせに」の言葉は男女の「性区別でなく、性差別」そのものであり、改めてありて発刊の必要性を実感しました。（松林 郁夫）

◆日々、同じ景色、環境のなかで時を過ごしていたのが、編集員の活動を通し、いろいろな方と出会い、新たな発見ができ、また、自分の活動に活かすことができました。最高の仲間と時間を共有でき、またひとつ宝物が増えたことに感謝します。（山本 和代）



市民編集員の皆さん、2年間、本当にありがとうございました。この号で皆さんの任期が終了し、次号からまた新たなメンバーでお届けします。

ありて キャラクターデザイン：山崎 可菜さん(高岡市在住)

表紙イラスト：金森 美世(編集員)

発行／高岡市男女平等推進センター

〒933-0023 高岡市末広町1-7(ウイング・ウイング高岡6階)
電話／0766-20-1810 FAX／0766-20-1815
E-mail／gec@city.takaoka.lg.jp
ホームページ／<http://www.city.takaoka.toyama.jp/gec/kurashi/kyodosankaku/center/index.html>

「ありて」の感想をお寄せください

- ◆QRコードから
 - ◆E-mail／gec@city.takaoka.lg.jp
 - ◆FAX／0766-20-1815
- いずれかの方法でお願いします。



※「ありて」のバックナンバーは、上記のHPでご覧いただけます。